

核兵器禁止条約 1月22日発効 日本政府は参加・批准を！

昨年10月25日、中米ホンジュラスが禁止条約を批准し、批准国が50カ国に達し90日後の1月22日国際条約として発効しました。

広島・長崎の被爆者をはじめ世界の市民と多数の国々の共同の力が歴史を動かしました。多くの人が絶対不可能と言ってきた事を数十年にわたる活動が「核兵器禁止」を成し遂げたのです。

核保有国が参加しない条約は無意味との声もあります。



しかし、核兵器を世界中に配備し核軍拡の先頭に立つ核大国アメリカでも核兵器の危険性についての認識が大きく変化しています。

米政権の中枢を担った元高官たちが核戦略を推進しキューバ問題など核戦争の危機や沖縄での核ミサイル「ナイキ・ハーキュリーズ」の誤発射、首都ワシントン近郊やスベイン・グリーンランドなどで水爆を搭載したB52爆撃機の相次ぐ墜落など重大事故多発やテロリストが核を手に入れる危険性等々、核兵器による壊滅的事態に直面する経験をしたキツンジャーやシュルツ両元国務長官、ペリー元国防長官などが「核兵器の無い世界を」と題する論文をジャーナル誌に投稿し「核廃絶を！」と呼びかけました。(2007年)

米の若い世代の核廃絶支持は7割と核保有国でも、国民

世論や草の根の運動が高まっています。昨年9月にはNATO加盟国と日韓の元首脳らが禁止条約参加を訴え大反響を呼びました。

唯一の戦争被爆国である日本政府が先頭に立つて核廃絶に向け行動するべきなのに、全く情けない態度ではありませんか。このような政府を禁止条約に参加・批准するよう世論を高めていかなければなりません。

に核兵器禁止条約に参加・調印・批准する事を求める陳情」が採択されました。さらに禁止条約発効を知らせる宣伝やスタンディングアピールなどを行い、町民の皆さんと署名を集め、世論の力で政府に禁止条約に参加・批准を求めています。

町が財政改善のパブリックコメント実施

寄せられた意見の公表と説明会の開催を！

町は財政状況改善に向けたパブリックコメント（意見募集）を行いました。期間は12月4日から正月を挟んで4日まで、資料は役場か多目的研習センターまで取りに来るように、とのことでした。その資料は11月の町民説明会で配布されたもので、その時出された意見についての町の見解は付いていませんでした。

をどのように返済するのか、財政再生団体に陥るような数字を掲げてどうするのか、聞きたいことは山ほどあります。

そこで、次のことを要請します。

- ①パブリックコメントの意見を公表し、説明会を開催すること。
- ②R3年度は暫定予算を組み、検討を続けること。
- ③行財政検討委員会を町民と共に立ち上げること。

(FC 読者)

新型コロナ県民アンケートにご協力ください。

コロナでお困りごとはありませんか。

日本共産党は、長引く感染拡大に伴う生活の実態をつかみ、行政に届けるために「新型コロナ県民アンケート」を実施しています。

同封のがきに記入していただき、議員やファンクラブ役員に連絡してください。取りに伺います。

郵送も可能です。切手がなくても投函できますが、切手を貼って出していただくと助かります。



「読者の声」

共有している熱意

小池晃書記局長の演説を松本駅前で聞いた一人です。30年前、不破さんの理路整然とした演説には心が熱くなりました。また、志位さんは常に鋭く毅然と政治の歪みを正さんとする政治家としての誇りと信念に満ち溢れています。

小池さんは「だいたいねえ」と背丈程伸びた雑草をバツバツサと大鎌で刈り取る様な演説です。聴衆からは都度大きな拍手が沸いていました。最後にスタッフが周辺にお礼をしていたのも好印象でした。

「私の事をウソツキと言いましたね。であるならば確かな証拠を示していただきたいと思います」と開き直るあの人に「おう！この金さんの桜ふぶき」と小池さんに迫って欲しい。

そんな小池さんはお医者さん。この先生なら「これは生活習慣病ですナ。だいたいねえ普段の自己管理が出来てないから、そんな風になるんです」と叱られそうです。



小池書記局長

吾妻町
西田 良平

安倍前首相

虚偽答弁118回

「桜を観る会」の前夜祭の費用を安倍晋三前首相側が補填していた問題をめぐり、安倍氏が国会で事実と異なる答弁を118回繰り返していた事が衆院調査局の調査で明らかになりました。補填をめぐり衆参両議員運営委員会で説明と答弁訂正をしました。責任を秘書に押し付け、ホテルの領収書や明細書の提出も拒否

し事実の解明を拒み続けました。補填したのは会場費などで、これは利益供与に当たらないと主張しました。しかし公選法の会場費は「政治上の主義または施策を普及する為に行う講習会などの政治教育の集会」に限定、宴会や酒食の提供は該当しない。この補填は買収供応の疑いがあります。予算委員会で証人喚問し、問いただす必要があります。(60代男性)



SDGs (エスディーズ) の記事が目につくようになりました。身近なところから「物を大事にする」「使い捨てを減らす」特にペットボトルを減らすなど、環境から考えていきたいと思います。(30代女性)

官房機密費にメスを

“政治と金”と言えば官房機密費(報償費)というお金86億円が官房長官には与えられているそうで、菅総理も1日307万円を、当時領収書不要の「政策推進費」として使っていたとのことだ。

その内容が新年に入り報道されて驚いた。総裁選挙に使っていたのではないか。お金で政治を食い物にしているんじゃないか。お金のことで「桜を見る会」前夜祭の不明金などが発生するのではないか。いずれにしてもこのままでは政治は良くならない。

(70代男性)

後期高齢者窓口負担引き上げ心配

昨年12月19日に発表された政府の中間報告「75歳以上の医療費窓口負担2割」は今後どうなるのかとても心配です。所得200万円以上と聞きましたが、途中から150万円に引き下げられることはないのだろうかと不安です。年を取れば病気になるります。消費税10%も響いていきます。

年金も減額される中、2割負担はきついです。(75歳女)

